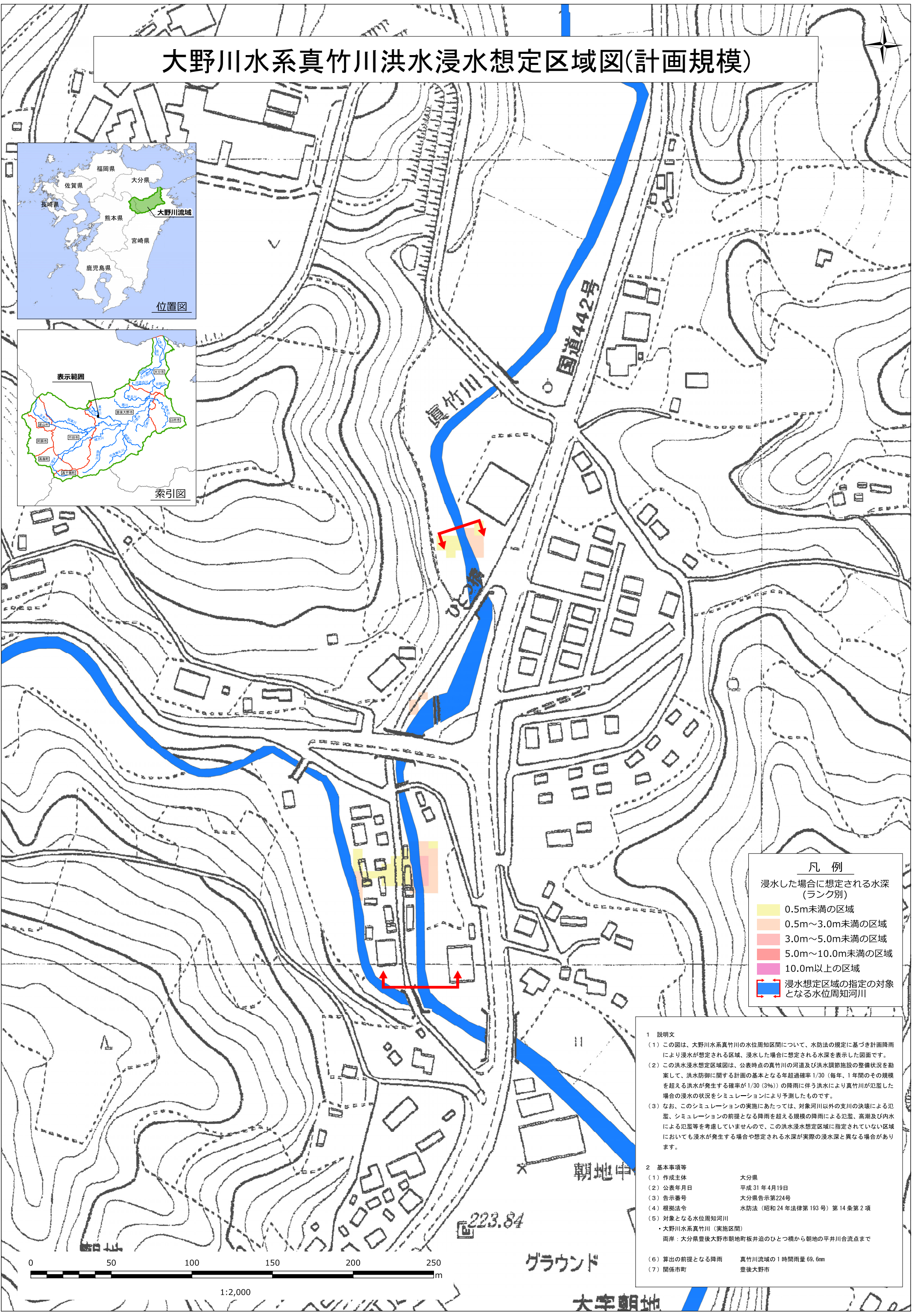


大野川水系真竹川洪水浸水想定区域図(計画規模)



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m以上の区域

浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1 説明文

(1) この図は、大野川水系真竹川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の真竹川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/30(毎年、1年間のその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水により真竹川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	大分県
(2) 公表年月日	平成31年4月19日
(3) 告示番号	大分県告示第224号
(4) 根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
(5) 対象となる水位周知河川	大野川水系真竹川(実施区間) 両岸: 大分県豊後大野市朝地町板井迫のひつつ橋から朝地の平井川合流点まで
(6) 算出の前提となる降雨	真竹川流域の1時間雨量69.6mm
(7) 関係市町	豊後大野市



1:2,000

グラウンド

大字朝地

223.84

朝地中